

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2000-307934(P2000-307934A)

【公開日】平成12年11月2日(2000.11.2)

【出願番号】特願平11-107620

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 5/232

H 0 4 N 5/225

H 0 4 N 5/765

H 0 4 N 5/781

// H 0 4 N 9/04

【F I】

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/781 5 1 0 K

H 0 4 N 9/04 B

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月13日(2004.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像素子により被写体画像を取り込み、該画像を保存記録する撮像装置において、
前記取り込んだ被写体画像に基づいて第1の評価値を取得し、
該撮像装置に備えられたセンサによる被写体及び/又は撮影環境の測定値から第2の評価
値を取得し、
前記第1、第2の評価値を比較し、その比較結果に応じて警告する、ことを特徴とする撮
像方法。

【請求項2】

撮像素子により被写体画像を撮像する撮像手段と、センサにより被写体及び又は撮影環
境を測定して測定信号を出力する測定手段を備えた撮像装置において、
前記撮像手段から得た被写体画像から第1の評価値を抽出する第1の抽出手段と、
前記測定手段から出力された測定信号から第2の評価値を抽出する第2の抽出手段と、
前記第1、第2の評価値を比較する比較手段と、この比較手段による比較結果に応じて警
告を行う警告手段と、
を備えたことを特徴とする撮像装置。

【請求項3】

前記第1の抽出手段は、前記撮像手段から得た被写体画像の輝度情報を前記第1の評価値
として抽出し、
前記第2の抽出手段は、前記センサから得た前記被写体及び又は撮影環境の輝度情報を前
記第2の評価値として抽出することを特徴とする請求項2記載の撮像装置。

【請求項4】

前記比較手段による比較結果に応じて撮像画像の保存記録を禁止する記録禁止手段を備え
たことを特徴とする請求項2又は3記載の撮像装置。

【請求項 5】

撮影指示後、前記比較手段による比較結果に応じて撮像画像の保存記録を行うか否かを選択する選択モードに移行するモード移行手段を備えたことを特徴とする請求項 2 又は 3 記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、第 1 の発明の撮像方法は、撮像素子により被写体画像を取り込み、前記取り込んだ被写体画像に基づいて第 1 の評価値を取得し、該撮像装置に備えられたセンサによる被写体及び / 又は撮影環境の測定値から第 2 の評価値を取得し、前記第 1、第 2 の評価値を比較し、その比較結果に応じて警告することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、第 2 の発明の撮像装置は、撮像素子により被写体画像を撮像する撮像手段と、センサにより被写体及び又は撮影環境を測定して測定信号を出力する測定手段を備えた撮像装置において、前記撮像手段から得た被写体画像から第 1 の評価値を抽出する第 1 の抽出手段と、前記測定手段から出力された測定信号から第 2 の評価値を抽出する第 2 の抽出手段と、前記第 1、第 2 の評価値を比較する比較手段と、この比較手段による比較結果に応じて警告を行う警告手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、第 3 の発明は、上記第 2 の発明の撮像装置において、前記第 1 の抽出手段は、前記撮像手段から得た被写体画像の輝度情報を前記第 1 の評価値として抽出し、前記第 2 の抽出手段は、前記センサから得た前記被写体及び又は撮影環境の輝度情報を前記第 2 の評価値として抽出することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】

【発明の効果】

以上説明したように、第 1 の発明の撮像方法及び第 2 の発明の撮像装置によれば、撮像素子によって得られた被写体画像の状態等をセンサ出力と比較し、輝度などの評価値が適切でない被写体画像である場合に警告するので、ユーザが気付かないままに画質の悪い撮像画像を記録・保存してしまうことを防止できる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 2 】

また、第3の発明の撮像装置によれば、前記第1の抽出手段は、前記撮像手段から得た被写体画像の輝度情報を前記第1の評価値として抽出し、前記第2の抽出手段は、前記センサから得た前記被写体及び又は撮影環境の輝度情報を前記第2の評価値として抽出するので、ユーザが気付かないままに輝度が適切でない撮像画像を記録・保存してしまうことを防止できる。